

## 「志」のある個人を育てるために～ 独立自彊・社会有為

1888年に大阪偕行社附属小学校に始まった追手門学院は、創設者の理想とした小学校から大学までの一貫教育を実現しました。現在、こども園から大学院までを有し、子どもから大人への成長を見守り、支えることができる立場にあります。

また教育理念である「どくりつじきょう しゃかいゆうい独立自彊・社会有為」は、自立と社会との協働を意味し、研究所が求める「『志』のある個人を育てる」と密接に関係しています。さらには、今日の、そしてこれからの日本社会においても極めて重要な社会的・教育的課題です。

本研究所は、学院の一貫教育の強みを生かすとともに、広く社会の英知を集め、失敗を恐れずに挑戦し続け、**開かれた研究所**をめざします。

佐藤 友美子（成熟社会研究所 初代所長）

### 研究所メンバー

所 長：神吉 直人

（経営学部准教授）

専門は経営組織論、組織行動。神戸大学経済経営研究所、香川大学経済学部を経て、2014年より追手門学院大学経営学部に着任。著書に『小さな会社でぼくは育つ』『コロナショックと就労』（江夏幾多郎らと共著）等。

所 員：今堀 洋子

（地域創造学部准教授）

長町 理恵子

（経済学部准教授）

村上 亨

（経済学部教授）

神谷 聡子、中川 啓子

研究員：打田 篤彦

（神戸大学大学院人間発達環境学研究所 助教）



 追手門学院大学

成熟社会研究所

（2014.5.29 設立 / 2016.4.1 大学へ移転）

〒567-8502

大阪府茨木市西安威 2-1-15

追手門学院大学 研究棟 6F

（安威キャンパス）

TEL：072-665-5068

E-mail：seijuku@otemon.ac.jp

<http://www.otemon.ac.jp/>

■ 駅からのアクセス

安威キャンパスへは

JR 茨木駅・阪急茨木市駅より

大学直通バスで約 20 分

2024.2 第 5 版

追手門学院大学

成熟社会研究所



## 成熟社会研究所とは

現代の日本は、成長の時代を経て成熟に向かっています。しかし、人口減少や経済格差といった不安は増大しています。

真の「成熟社会」とは、  
**「多様な価値観を認め、  
選択肢を自らの生き方を選び取り、  
誰もがかけがえのない人として成長できる社会」**

その実現のためには  
自立して生きる力を備えた  
**「志」のある個人を育てる**  
ことが必要だと考えます。

成熟社会研究所では、  
**鳥瞰的・横断的視点を持って**  
**伝統と革新の中から物事の本質をとらえ、**  
若者の自立と社会環境に関わる  
調査・研究・提言を行います。

## 研究の切り口



### 若者の 成長と自立

- 大人になるための教養と知恵
- 聴く力、伝える力
- 自立のためのしぐみ



### 若者とともに 成熟する 社会

- 若者を育む地域
- 若者とともに育つ大人の存在
- 経済活動の新しい枠組み

## 研究活動

社会とともに ~身近に、多様に、双方向に。

身近なテーマで  
世代や専門の垣根を  
越えて対話し学ぶ  
「参加型研究会」  
の開催

企業、研究所、  
大学・学生、NPO、  
アーティスト等  
「多分野との共同研究」

大人と若者が  
学び教え合う  
「新しい学び合い」  
の仕組みの試行

社会に伝える ~広く、分かりやすく。

書籍の出版、冊子の制作  
講演会・シンポジウムの開催  
インターネットによる情報発信 など

私たちが考える  
若者の育て方



- ◎ **実践と体験の場を提供する。**  
現場での失敗や苦労を経験することで、人は一回り大きく成長します。
- ◎ **じっくりしっかり育てる。**  
折れない軸と豊かな個性は、日々の積み重ねの中で育まれます。

若者には、  
若者の成熟がある！